

# 7月例会「ビリーブー未来への大逆転ー」

新型コロナウイルス感染症に気をつけながら、6か月ぶりに活動を再開します

みなさんお元気ですか

新型コロナウイルス感染症の影響で、大変な時を過ごしてこられたことと思います。3月例会に続き、5月例会も中止になり、「こんな時だからこそよい映画がみたいな〜」の声に応え、感染症予防の対策を取りながら7月例会を開催することにしました。

注意事項は別紙に載せましたが、①自宅で体温を測定 ②体調の悪い時は行事に参加しない ③入館時には手指の消毒、マスク着用 ④「3密」にならないようなるべく周囲の方と距離をとる、という対策のルールを守って、楽しく映画を楽しみましょう。

また、会費については、例会日の現金取り扱いをできるだけなくし、郵便局の引き取りにしたいと思っています。「会費納入について」の用紙を入れています。当日提出ください。

## 例会のお知らせ

■名称／第107回例会

『ビリーブー未来への大逆転ー』

■日時／2020年7月16日(木)

①PM2:00～、②PM4:20～、③PM6:40～

■場所／加古川総合文化センター大会議室

(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

■タイトル／ビリーブー未来への大逆転ー

(原題: On the Basis of Sex)

■監督／ミミ・レダー

■出演／フェリシティ・ジョーンズ、アーミー・ハマー、ジャスティン・セロー、キャシー・ベイツ、サム・ウォーターストン、スティーブン・ルート、ジャック・レイナー、カイリー・スパイニー



■ストーリー／時は1970年代、アメリカ。女性が職に就くのが難しく、自分の名前でクレジットカードさえ作れなかった時代に、弁護士ルース・ギンズバーグが勝利した、史上初の〈男女平等〉裁判。なぜ、彼女は法の専門家たちに〈100%負ける〉と断言された上訴に踏み切ったのか？そして、どうやって〈大逆転〉を成し遂げたのか？

ルースを演じるのは、『博士と彼女のセオリー』でアカデミー賞®にノミネートされたフェリシティ・ジョーンズ。彼女を信じ、支え続けた夫のマーティンには『君の名前で僕を呼んで』のアーミー・ハマー。さらに、『ミザリー』のオスカー女優キャシー・ベイツが伝説の弁護士役で出演。貧しさと差別をバネに、弱い立場の人々と手を組んで、権力に立ち向かうルースの逆転劇に、心の拳を高く振り上げずにはられない。

貧しいユダヤ人家庭に生まれたルース・ギンズバーグは、「すべてに疑問を持って」という亡き母の言葉を胸に努力を重ね、名門ハーバード法科大学院に入学する。1956年当時、500人の生徒のうち女性は9人で、女子トイレすらなかった。家事も育児も分担する夫のマーティンの協力のもと首席で卒業するが、女だからというだけで雇ってくれる法律事務所はなかった。やむなく大学教授になったルースは、70年代になってさらに男女平等の講義に力を入れる。それでも弁護士の夢を捨てられないルースに、マーティンがある訴訟の記録を見せる。ルースはその訴訟が、歴史を変える裁判になることを信じ、自ら弁護を買って出るのが一。

(作品ホームページから抜粋)

## 明石シネマクラブ例会情報

### ■名称／『人生をしまう時間(とき)』

(2019年、日本、110分)

### ■監督／下村幸子

### ■出演者／小堀鷗一郎、堀越洋一

### ■ジャンル／ドキュメンタリー・ヒューマン



### ■イントロダクション／

「患者と家族と向かい合い、最後の日々をともに過ごす……。小堀鷗一郎医師と在宅医療チームに密着した200日の記録」

「東大病院の名外科医がたどりついた最後の現場それは、「在宅」の終末期医療だった。」

超高齢化が進み、やがて多死時代を迎える日本。近年、国は医療費抑制のため終末期医療の場所を病院から自宅に移す政策をとってきた。同時に、家族に看取られ、穏やかに亡くなっていくことを目指す「在宅死」への関心が高まっている。しかし、家族との関係や経済力など事情はそれぞれ。「理想の最期」の前に、厳しい現実が立ちはだかることもある。都会の片隅で、「在宅死」と向き合うベテラン医師がいる。埼玉県新座市の「堀ノ内病院」に勤める小堀鷗一郎医師、80歳。森鷗外の孫で、東大病院の名外科医だった彼がたどりついた最後の現場が、在宅の終末期医療だった。患者と家族とともに様々な難問に向き合い、奔走する医師や看護師、ケアマネージャーたち。一人ひとりの人生の終わりに、医療に何ができるのか。映画は、地域の在宅医療に携わる人々の活動に密着し、命の現場を記録した。

(作品ホームページから転載)

### ■日時／8月27日(木) ①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

### ■場所／アスパア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662 (金沢まで)

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

### 加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 079-425-4499 ※

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://kakogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

※ファクシミリの番号が変わっています。

会員数 145人(1月23日現在)